

作成日 2021年08月06日(第5版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	アグリメック®
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海1丁目8番10号オフィスタワーX 21階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
FAX番号	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
推奨用途及び使用上の制限	殺虫剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性:	引火性液体	区分4
健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分4
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(神経系)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(自律神経系)
		区分2(、肝臓、心臓、生殖器、腎臓)
環境に対する有害性:	水生環境有害性 短期(急性)	区分1
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分1
	* 記載がないものは「区分に該当しない(分類対象外を含む)」または「分類できない」	

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	可燃性液体 飲み込むと有害 強い目刺激。 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い 臓器の障害(神経系) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(自律神経系)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(肝臓、心臓、生殖器、腎臓)
 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き: **【安全対策】**
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源 から遠ざける。禁煙。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用する。
 ミスト、蒸気を吸入しない。
 作業後は手足、顔などよく洗う。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしない。
 使用前に取扱説明書を入手する。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
 環境への放出を避ける。

【救急処置】
 火災の場合には適切な消火方法をとる。
 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡する。口をすすぐ。
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用して
 いて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当を受ける。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当を受ける。
 気分が悪いときは、医師の診察/手当を受ける。
 漏出物を回収する。

【保管】
 換気の良い場所で保管する。涼しいところに置く。
 施錠して保管する。

【廃棄】
 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃
 棄物処理業者に業務委託する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名(一般名)	アバメクチン: アベルメクチン B1a 及びアベルメクチン B1b の混合物
	アベルメクチン B1a : (10E, 14E, 16E)-(1R, 4S, 5'S, 6S, 6'R, 8R, 12S, 13S, 20R, 21R, 24S)-6'- [(S)-sec-ブチル]-21, 24-ジヒドロキシ-5', 11, 13, 22-テトラメチル-2-オ キソ-3, 7, 19-トリオキサテトラシクロ[15.6.1.1 ^{4,8} .0 ^{20,24}]ペンタコサ-10, 14, 16, 22-テトラエン-6-スピロ-2'-(5', 6'-ジヒドロ-2'H-ピラン)-12-イ ル=2, 6-ジデオキシ-4-O-(2, 6-ジデオキシ-3-O-メチル- α -L- arabino -へ キソピラノシル)-3-O-メチル- α -L- arabino -へキソピラノシド
	アベルメクチン B1b : (10E, 14E, 16E)-(1R, 4S, 5'S, 6S, 6'R, 8R, 12S, 13S, 20R, 21R, 24S)-21, 24-ジヒドロキシ-6'-イソプロピル-5', 11, 13, 22-テトラメチル-2-オキ ソ-3, 7, 19-トリオキサテトラシクロ[15.6.1.1 ^{4,8} .0 ^{20,24}]ペンタコサ-10, 14, 16, 22-テトラエン-6-スピロ-2'-(5', 6'-ジヒドロ-2'H-ピラン)-12-イ

ル=2, 6-ジデオキシ-4-O-(2, 6-ジデオキシ-3-O-メチル- α -L- arabino -へキソピラノシル)-3-O-メチル- α -L- arabino -へキソピラノシド

成分	含有量(%)	化学式	官報公示 整理番号	CAS No.
アバメクチン	1.8	$C_{48}H_{72}O_{14}$ $C_{47}H_{70}O_{14}$	8-(5)-446	71751-41-2
有機溶剤、界面活性剤等	98.2	—	—	—

4. 応急措置

一般的アドバイス	緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意する。
吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移す。呼吸をしていない場合や呼吸が不規則な状態である場合、人工呼吸を施す。安静・保温に努める。直ちに医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を脱ぐ。直ちに多量の水を用いて洗い流す。皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡する。汚染された衣類は再使用する前に洗濯する。
眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分以上まぶたの内側も含め洗う。コンタクトレンズを外す。医師の診断、手当を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師の手当を受ける。医師に製品容器又はラベルを見せる。 無理に吐かせない。
最も重要な急性および遅発性の症状	特異的な症状はない。 既知または予想される症状はない。
医療関係者への情報	本製品の殺虫作用機作は GABA 受容体活性化と考えられている。本剤にばく露した可能性のある患者には、GABA 受容体を活性化する薬品の投与は避けるべきである。

5. 火災時の措置

消火剤	小規模火災時： 噴霧放水、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素 大規模火災時： 耐アルコール泡消火剤、噴霧放水
使ってはならない消火剤	棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。
特有の危険有害性	可燃性有機成分を含有するため、火災時に有害性物質を含む黒煙が発生するおそれがある(「10. 安定性及び反応性」参照)。 分解生成物へのばく露は健康を害する可能性がある。
消防士へのアドバイス	
消火を行う者の保護	完全な保護服と自給式呼吸器を着用する。
詳細情報	消火水を排水路や水路に流出させない。 火にさらされた密閉容器は散水して冷やす。

6. 漏出時の措置

<p>人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置</p>	<p>「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行う。</p>
<p>環境に対する注意事項</p>	<p>作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい又は漏出を防ぐ。 地表水や下水システムに排水しない。</p>
<p>封じ込め、浄化の方法及 び機材</p>	<p>製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関係当局に連絡する。 漏出物を封じ込めて不燃性の吸収剤(砂、土、珪藻土、バーミキュライトなど)で吸収して容器に入れ、地域/国の規制に従って廃棄する(「13.廃棄上の注意」を参照)。 汚染面を十分に浄化する。 洗剤で拭く。ただし溶剤は避ける。 汚染された洗浄水を回収し、処分する。</p>

7. 取扱い及び保管上の注意

<p>取扱い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬用外劇物。取扱いには十分注意する。 ・周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 ・電気機器類は防爆型(安全増型)のものを使用する。 ・適切な保護具を着用し、眼や皮膚への接触や吸入を避ける。 ・作業は換気のよい場所で行う。 ・取扱い時には飲食、喫煙をしない。 ・取扱い後は手や顔などの露出部をよく洗い、うがいをする。 ・ラベルをよく読んでから、保管・使用する。 ・製品の飛散、漏出等がないようにする。
<p>保管</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・換気のよい冷暗所で、密封出来る容器に入れて鍵をかけて保管する。 ・小児の手の届く所には置かない。 ・食品や飼料と区別して保管する。 ・消防法の定めに従う。火気厳禁。 ・盗難・紛失の際は警察に届け出る。 ・誤飲の危険を避けるため、他の容器には絶対に移しかえない。

8. 暴露防止及び保護措置

<p>設備対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱い時にはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 ・取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。
<p>管理濃度</p>	<p>シクロヘキサノール 25ppm</p>
<p>許容濃度</p>	<p>アバメクチン 0.02 mg/m³ (TWA)(シンジェンタ社)</p> <p>シクロヘキサノール 25ppm 102mg/m³ (日本産業衛生学会(2017))</p>

		50ppm (TLV-TWA)、206 mg/m ³ (Skin) (ACGIH (2017))
	2,6-ジ-ターシャリーブ チル-4-クレゾール	2mg/m ³ (ACGIH (2017))
保護具	呼吸器用の保護具	保護マスク
	手の保護具	保護手袋
	眼の保護具	ゴーグル、保護眼鏡、保護面
	皮膚及び身体の保護具	耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	淡黄色
比重	0.98 (20°C)
pH	3.5 (1%w/v)
引火点	69°C (ペンスキー - マルテンス密閉カップ法)
自然発火点	320°C
オクタノール／水分配係数	アバメクチン: log Pow = 4.4±0.3 (pH 7.2±0.1)

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定。
反応性	ほとんどないと考えられる。
危険有害反応可能性	通常の条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	取扱条件に従っているとき、特になし。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	特になし。

11. 有害性情報

急性毒性		
経口 LD50	ラット	891mg/kg (♀)
経皮 LD50	ラット	>5050mg/kg
吸入 LC50	ラット(4hr)	>5.04mg/L
皮膚腐食性/皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性 /目刺激性	ウサギ	軽度の刺激性
呼吸器感作性又は皮膚 感作性	モルモット	陰性
生殖毒性		区分2に分類されるシクロヘキサノールが約65%含まれることから区分2とした。

特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露)	区分1に分類される2,6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾールが約2%含まれることから区分2(神経系)とした。
特定標的臓器(反復ばく露)	区分1(自律神経系)及び区分2(肝臓、心臓、生殖器、腎臓)に分類されるシクロヘキサノールが約65%含まれることから区分1(自律神経系)、区分2(肝臓、心臓、生殖器、腎臓)とした。

12. 環境影響情報

生態毒性:

魚毒性	コイ LC ₅₀ (96hr)	0.49 mg/L
甲殻類毒性	オオミジンコ EC ₅₀ (48hr)	0.095 mg/L
藻類毒性	藻類 ErC ₅₀ (72hr)	>100 mg/L

13. 廃棄上の注意

注意事項

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送

・国連番号	UN 3082
・国連輸送名	環境有害性物質(液体)、N.O.S.(アバメクチン)
・国連分類	9
・容器等級	III
・ラベル	9
・環境有害性	該当

航空輸送

・国連番号	UN 3082
・国連輸送名	環境有害性物質(液体)、N.O.S.(アバメクチン)
・国連分類	9
・容器等級	III
・ラベル	9 その他有害性物件
・環境有害性	該当

海上輸送

・国連番号	UN 3082
-------	---------

・国連輸送名	環境有害性物質(液体)、N.O.S.(アバメクチン)
・国連分類	9
・容器等級	III
・ラベル	9
海洋汚染物質	該当
輸送時の安全対策	運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。消防法の定めに従う。

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 23235 号
労働安全衛生法	法第 57 条の 2 通知・表示義務対象物質 シクロヘキサノール (65%)、2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール (2%)
PRTR法	第一種指定化学物質 2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール (2%)
毒物及び劇物取締法	第 2 条 劇物
消防法	危険物第 4 類第 2 石油類(非水溶性液体)

16. その他の情報

記載内容の取扱い	製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。 この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。
問合せ先	担当部門 電話番号 HSEグループ 03-6221-1027

中毒の緊急問合せ先 財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1 件につき 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9-21 時)	029-852-9999	029-851-9999

「アグリメック」はシンジェンタ社の登録商標です。